

平成 28 年度 第 2 回「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

【日 時】平成 28 年 7 月 21 日（木）18 時～19 時 10 分

【場 所】皇學館大学 9 号館 1 階 小会議室

【出席者】（志摩市）柴原総合政策課課長補佐兼政策調整係長（度会町）中井政策調整室長（大紀町）田中
企画調整課長（南伊勢町）西村行政経営課長（明和町）朝倉防災企画課企画担当係長

（三重銀総研）別府調査部副部長

（大学）齋藤教授、櫻井教授、筒井教授、笠原教授、板井准教授、近藤准教授、千田准教授、
池山助教、木村企画部長、森企画部地域連携推進室課長、梅川地域連携推進室員

* オブザーバー（三重大学）永野講師、下川コーディネーター

* 欠席（伊勢市）辻企画調整課長（鳥羽市）榎企画財政課副参事（玉城町）林総合戦略課参事兼課
長

【議 題】

1. 平成 28 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム(科目Ⅰ・Ⅲ)開講状況と、平成 29 年度『伊勢志摩定住自立圏共生学』教育プログラム改善点について

齋藤教授より科目Ⅰ・Ⅲ開講状況概略について、その後各科目担当教員から改善点等について説明がなされた。

（科目Ⅰ：板井准教授）

- ・ 4 人の COC 教員がオムニバスで授業を担当。テーマに応じてその都度、市町の方々にゲストとしてお越しいただき、授業を展開している。あらかじめ設定されたテーマに関する事前・事後のレポート提出をさせるなどカリキュラムとしてようやく完成しつつあると考える。
- ・ ゲストをご紹介いただくタイミング等含め、お気づきの点があればお教えいただきたい。

（科目Ⅲ：千田准教授）

- ・ 2 名の教員が担当
近藤准教授→自然科学分野の視点から地域資源の調査や評価について学ぶ
千田准教授→社会科学分野の視点で経済や6次産業化の実践を学ぶ
- ・ 参加人数も少ないことからほぼ合同での授業。学生の要望もあり、座学ではなく現地での調査などに重点をおいた授業（水質調査、生物調査、ドローンの活用・実践体験など）を行った。授業で実践した技術を使って地域の取組にどのような付加価値を付けられるかをテーマとしたレポートを提出させる。
- ・ 後期（科目Ⅳ）は科目Ⅲと同じように、現場での実践的な授業を進めてゆきたい。

審議の結果、異議なく了承された。

2. 第2回シンポジウム(9月)の準備状況について

齋藤教授より配布資料に基づき、説明がなされた。

- ・ 今年度は志摩市磯部生涯学習センターにて、志摩市共催で開催を予定。趣旨は昨年度同様であるが、シンポジウムの形式をフィッシュボウル形式で行う。

- ・登壇者について

皇學館高校生→現在依頼中であるが参加は難しい模様。三重大学生→すでに依頼済み

(市町委員への依頼事項)

- ①後援名義およびチラシ(案)の文言等修正についての回答を7月25日(月)までをお願いしたい。
- ②市町若手職員登壇者の紹介。(8月中旬に登壇者打合せを予定)
→ご紹介に際しては、名前・所属・連絡先を7月29日(金)までに連絡をお願いしたい。

審議の結果、異議なく了承された。

3. 「伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)A~D」の実習内容と受入団体、事前指導と実施体制について

各実習担当教員から実習内容等について説明がなされた。

- ・夏季休業期間中に開講予定の実習C、D【a】については、受け入れ団体・市町と協定書、誓約書を締結済である(配布資料参照)
- ・今後協定書、誓約書を結ぶにあたっては、文言等について適宜調整させていただくので、ご相談いただければと考えている。

審議の結果、異議なく了承された。

4. 平成28年度「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラム秋学期開講科目の準備状況について

齋藤教授より説明がなされた。

(伊勢志摩共生学)

- ・1学年必修で履修登録者は733名。昨年度までの「伊勢学」を改善して開講するもので、講師については伊勢市長のみとさせていただいている。

(科目Ⅱ)

- ・科目Ⅰと同様、テーマに応じてゲストをお招きして授業実施。今後、各担当教員からゲストのご相談を申し上げたい。

(科目Ⅲ、Ⅳ)

- ・現時点での履修登録者が少ないので、秋学期開講に向け履修者数の拡大を図ってゆきたいと考えている。
- ・manabaを活用いただけるようアカウントを発行

<三重銀総研 別府氏より補足説明>

- ・科目Ⅲ、Ⅳを隔週水曜日で開講予定。昨年度の自己点検・評価、外部評価で成績評価の基準が明確でないとのお話があったので、今年度は毎回小レポート、中間(8回目)、最終(15回目)にレポート提出という形をとりたいと考えている。

<木村部長発言>

- ・事項書「【報告】3.」で示したとおり、科目等履修生 2名、スポット履修 2名の応募をいただいた。市町のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

審議の結果、異議なく了解された。

5. 伊勢志摩みらいづくり調査について

筒井教授より平成 27 年度調査結果について配布資料に基づき説明がなされ、続いて板井准教授より平成 28 年度調査についての概要と市町への依頼事項の説明がなされた。

(1) 平成 27 年度調査結果について

- 配布資料を基に、調査結果とりまとめ状況について説明。9 月 4 日のシンポジウムでは中学生、高校生にもわかり易いような形（グラフ表示など）で報告したいと考えている。

(2) 平成 28 年度調査について

- 圏域市町中学生（中 3 生）、高校生（高 2 生）および大学生（大 3 生）を対象とした本格調査を予定。

<調査期間> 10 月 15 日～11 月 15 日。10 月初旬に委託業者から各学校へ調査票を発送予定

<調査方法> 対象者が未成年であるため、パイロット調査と同様に学校で配布後、数日～1 週間程度、家庭へ持ち帰り、学校へ提出。

学校からの回収は返信用封筒もしくは箱等を準備し、大学へ送付いただく。

調査期間中の問合せ先は、大学で対応。（その旨、調査票に明記）

<調査内容> 圏域内中学校 32 校（内、私立 1 校） 約 2400 名

圏域内高校 13 校（内、私立 2 校） 約 2000 名

大学 1 校 約 700 名 計 約 5100 名の全数調査

(市町委員への依頼事項)

各市町教育委員会の担当者のご紹介をお願いいたします。

- ご紹介いただいた後、調査概略・フローを持参し、各ご担当者へ説明にあがりたいと考えている。
- 高校については現在、県教育委員会へ問合せ中で、来週担当者と面会予定である。校長会に出向き、一斉に説明を行う形をとらせていただきたいと考えている。
- 説明等に追加して必要な資料や、アプローチの方法があればお教えいただきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

【報 告】

1. 自己点検・評価委員会および外部評価委員会(5月)開催報告

齋藤教授より報告がなされた。

- 5 月 14 日に開催された自己点検・外部評価委員会では、事項書に示したとおり、①～⑦の項目について検討がなされた。今後、改善へとつなげてゆきたいと考えている。

異議なく了解された。

2. 文部科学省統一指標フォローアップアンケート

齋藤教授より配布資料に基づき、説明および報告がなされた。

- 学生への質問「2.」について、設問項目に誤りがあったことが判明した為、質問「2.」以降の結果については（参考）という形で示している。

＊該当授業科目名

（誤）「伊勢志摩共生学」 → （正）「伊勢学」もしくは「伊勢志摩共生学」

地域志向科目を設定し、受講しているということが、本事業において重要な指標となる為、この点について不十分であったことを陳謝する。なお、質問「2.」「3.」「4.」「5.」については後期に2年生以上を対象として再調査を行う予定である。

<木村部長発言>

- 連携自治体にご協力いただいたアンケート結果もお示しさせていただいている。アンケート結果から、自治体との連携については順調に効果が上がっているものと理解している。今後さらに満足度を高めていけるよう、努力してまいりたい。

異議なく了解された。

3. 科目等履修生申込み状況

- 議題4にて、すでに説明済みのため省略

4. CLL 活動進捗状況

齋藤教授より説明がなされた。

- 参加者数は昨年度7活動50名程度であったが、今年度は14活動94名となっている。座学（科目Ⅰ～Ⅳ）で学んだことをさらに自分の体験として取組むことによって、「より説明できる」、「より説得力のある」学力が身につくようになってもらえればと考えている。
- 今後、CLL活動としての取組みのご提案があれば、ぜひお願いしたい。

5. その他

- 「各市町でお持ちの行政チャンネルでCOC関連科目を放映させていただく枠を作っていただけるか」ということについて、改めてお諮りさせていただきたい。この件について、頭の片隅に置いておいていただければと考えている（→放映実施は早くても来年度以降）

＊次回日程

次回（H28年度 第3回）運営会議は、

平成28年11月24日（木）18時～ 皇學館大学 9号館 1F（911）にて開催されることが確認された。

以上